

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 サークレイス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5029 URL <https://www.circlace.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 潤
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員CFO (氏名) 古川 光瑛 (TEL) 050 (1744) 7546
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,063	—	△90	—	△89	—	△115	—
2023年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △121百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△27.07	—
2023年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2024年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,144	713	61.6
2023年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 704百万円 2023年3月期 ー百万円

(注) 2024年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,850	—	△85	—	△86	—	△80	—	△18.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2024年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。詳細は、本日開示「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) Circlace HT Co., Ltd.、除外 1社 (社名)

詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	4,273,050株	2023年3月期	4,226,250株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1株	2023年3月期	1株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	4,258,342株	2023年3月期3Q	4,173,231株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2024年2月13日 (火) に決算説明資料及び決算説明会動画を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、ウクライナ情勢が長期化する中、インフレの進行は一旦の落ち着きを見せたものの、依然として資源高の影響は根強く、世界的な金融引き締めが続く、また、イスラエルのガザ地区侵攻が生じ、不安定な国際情勢から先行き不透明な状況にあります。

このような経済環境下ではありましたが、当社の属する国内パブリッククラウドサービス市場では、多くのユーザー企業がクラウドの導入/利用促進から高度活用へとシフトしており、まだまだ市場の拡大が見込まれ、クラウド活用推進によるコンサルティング、システム開発、保守関連の需要は今後も拡大すると予測されます。

このような状況下、当社グループにおいては、カスタマーサクセスを除いたすべての事業において、堅調な売上実績をあげております。主力事業でありますSalesforce Consultingにおいては、リモートワークでの対応ができることを強みに当第3四半期連結累計期間を通して堅調に推移しております。ただし、戦略的社内組織変更により、従業員のキャリアパスを見据え、カスタマーサクセス担当者の一部をSalesforce Consultingに異動したことに起因し、カスタマーサクセスにおいては、売上が減少傾向にあります。Anaplan Consultingにつきましては、受注案件のフェーズに応じて売上のばらつきがあり、売上が減少傾向にあった期間があったものの、当第3四半期連結累計期間においては、安定的に推移しております。また、DXにおいては、駐在員管理クラウドサービス「AGAVE」が堅調な売上を計上しております。最後に、エデュケーションにつきましては、リモートでの開催が定着し、管理者/開発者に向けた豊富なトレーニングメニューを提供したことにより、売上は安定的に推移しております。

2023年6月20日には株式会社ハイブリッドテクノロジーズ及び株式会社グロースリンクと共同でベトナムに合弁会社を設立し、同合弁会社を子会社化しました。共同で合弁会社を設立した両社とタッグを組むことにより、Salesforce製品群に関する豊富な知見と潤沢な専門人材の供給というシナジーを創出するとともに、100名以上のIT人材を擁する体制を構築し、大きな事業成長を目指しております。第3四半期において、ベトナム子会社の本格稼働に向け、事業展開を進めております。

また、2023年10月26日にはFTL株式会社の発行済株式を100%取得し、子会社化しました。FTL株式会社は、クラウドサービスにおける高速・高品質なシステム開発を強みとし、顧客ニーズに適した柔軟なシステム開発事業を展開しております。同社の全株式取得により当社グループは、コンサルティング事業における更なるサービス領域の拡大と技術力強化による事業拡大を実現することができるようになります。第3四半期において、同社との連携により、サービス領域の拡大を行っております。

一方で、人材確保のために人件費及び人材採用活動に伴う社員募集費が大きく発生し、子会社設立、M&Aに関連した業務委託費、さらに、システム関連費用等が同様に大きく生じております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの実績は、売上高2,063,994千円、営業損失90,216千円、経常損失89,302千円、親会社株主に帰属する四半期純損失115,276千円となりました。

なお、当社グループは、「デジタルプラットフォーム事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

また、当社グループは当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は757,723千円となりました。主な内訳は、現金及び預金382,861千円、売掛金301,852千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は386,660千円となりました。主な内訳は、有形固定資産60,368千円、のれん123,450千円、関係会社株式30,000千円、投資その他の資産の「その他」148,119千円であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は395,881千円となりました。主な内訳は、買掛金21,630千円、1年内返済予定の長期借入金56,520千円、未払金43,606千円、未払費用71,285千円、未払消費税等48,460千円、契約負債29,221千円、賞与引当金76,585千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は34,766千円となりました。主な内訳は、長期借入金33,410千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は713,735千円となりました。主な内訳は、資本金395,408千円、資本剰余金443,408千円、利益剰余金△133,944千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月13日に連結決算開始に伴い、2024年3月期の連結業績予想を発表いたしました。

詳細につきましては、本日開示いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	382,861
売掛金	301,852
その他	73,065
貸倒引当金	△56
流動資産合計	757,723
固定資産	
有形固定資産	60,368
無形固定資産	
ソフトウェア仮勘定	20,252
のれん	123,450
無形固定資産合計	143,702
投資その他の資産	
投資有価証券	4,470
関係会社株式	30,000
その他	148,119
投資その他の資産合計	182,589
固定資産合計	386,660
資産合計	1,144,383
負債の部	
流動負債	
買掛金	21,630
短期借入金	3,684
1年内返済予定の長期借入金	56,520
未払金	43,606
未払費用	71,285
未払法人税等	13,640
未払消費税等	48,460
契約負債	29,221
賞与引当金	76,585
株式給付引当金	1,556
役員株式給付引当金	547
その他	29,142
流動負債合計	395,881
固定負債	
長期借入金	33,410
株式給付引当金	1,356
固定負債合計	34,766
負債合計	430,647

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2023年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	395,408
新株式申込証拠金	128
資本剰余金	443,408
利益剰余金	△133,944
株主資本合計	705,001
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△58
その他の包括利益累計額合計	△58
新株予約権	946
非支配株主持分	7,846
純資産合計	713,735
負債純資産合計	1,144,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,063,994
売上原価	1,034,318
売上総利益	1,029,675
販売費及び一般管理費	1,119,892
営業損失(△)	△90,216
営業外収益	
受取利息	3
為替差益	522
保険配当金	1,039
雑収入	0
営業外収益合計	1,564
営業外費用	
支払利息	651
雑損失	0
営業外費用合計	651
経常損失(△)	△89,302
特別利益	
新株予約権戻入益	396
特別利益合計	396
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,906
法人税等	32,556
四半期純損失(△)	△121,463
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,186
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△115,276

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△121,463
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△77
その他の包括利益合計	△77
四半期包括利益	△121,541
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△115,335
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,206

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、Circlace HT Co., Ltd. (子会社)の重要性が増したことから、同社を連結の範囲に含めるとともに、FTL株式会社の株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

なお、Circlace HT Co., Ltd. (子会社)の設立日が2023年6月20日であるため、2023年6月から2023年12月までの損益計算書を連結しております。また、FTL株式会社の決算日は連結決算日との差異が3か月を超えることから、10月31日で実施した仮決算に基づく四半期財務諸表を使用しており、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。なお、FTL株式会社のみなし取得日は2023年10月31日であり、当第3四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。